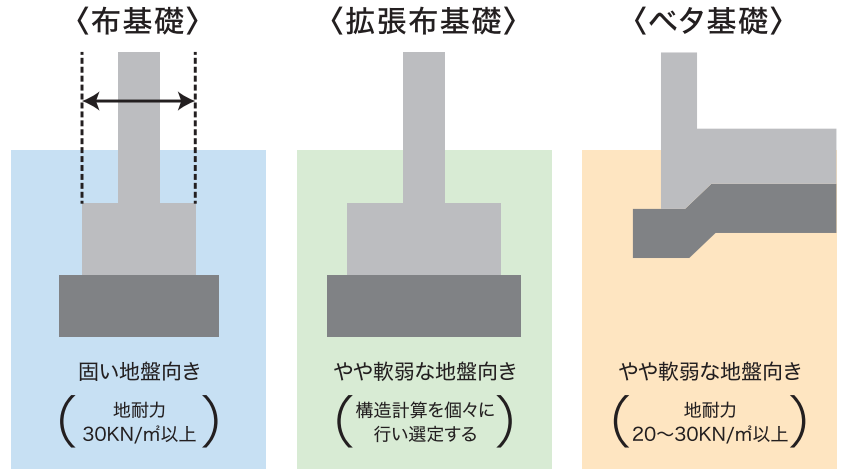


「ベタ基礎」で建物を足元からしっかりと支える

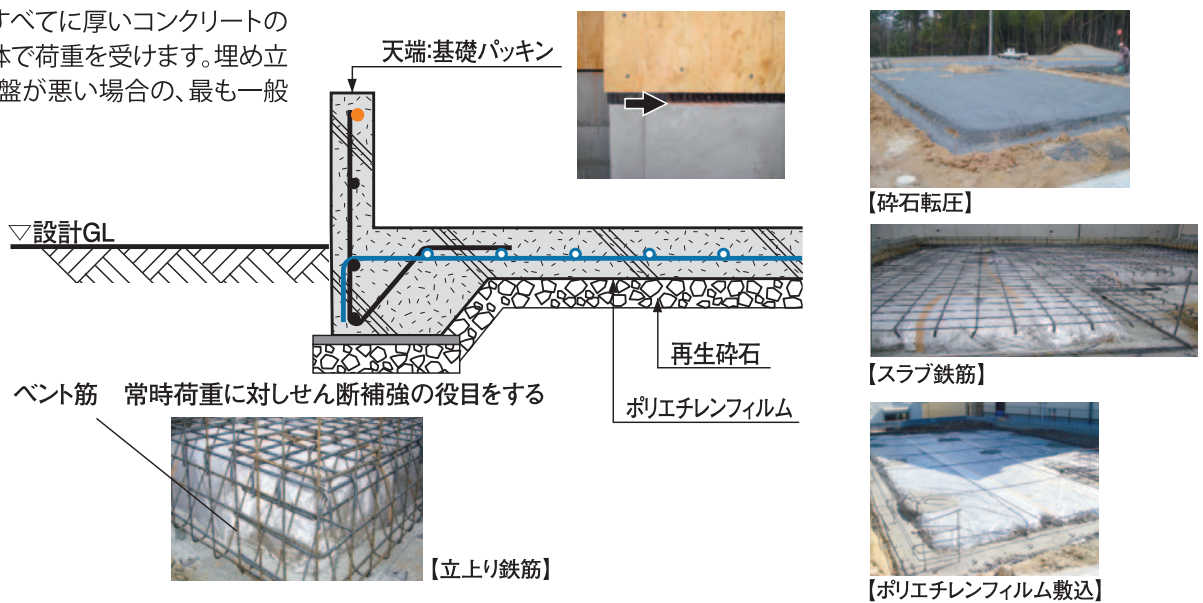
東洋生興では標準仕様で、地震時の揺れによる変形に耐えられる、強固な「ベタ基礎」を採用しています。基礎部分に鉄骨を配しコンクリートを敷き詰めた基礎で、お客さまのお家を足元からしっかりと支えます。



※地耐力とは、地盤の強さであり、1㎡あたり何キロニュートン(KN)支えられるかを表します。

当社は、コンクリートの床板全体で荷重を受ける工法を採用

建物の乗る範囲のすべてに厚いコンクリートの床板をつくり、板全体で荷重を受けます。埋め立てや盛り土など、地盤が悪い場合の、最も一般的な工法です。



入念な「地盤調査」そして最適な「基礎構造」をご提案

■ 軟弱地盤にはその地盤に合わせた地盤改良をご提案



軟弱地盤の土にセメント系固化材を注入・攪拌(かくはん)し、固めることで地盤の耐力を強め、建物の傾きを防ぐ工法です。

セメント系固化材をスライム状にして、地盤に注入しながら攪拌(かくはん)し、現地盤の土を柱状に固め、地盤強化を図る工法です。

軟弱地盤層が厚く、支持層が柱状改良工法では届かない深さにある場合に、支持層(固い地盤)まで鋼管杭を貫入させて、住宅の荷重を支える工法です。